



# ペットの災害対策について

## ～「飼い主とペットの健康と安全の保持」を標準化しよう～



令和6年5月26日（日）

13:00～16:00 ペット災害対策ワークショップ

主催：秋田情報ビジネス専門学校

一般社団法人 日本防災教育訓練センター

一般社団法人 日本国際動物救命救急協会

代表理事：サニー カミヤ

# 自己紹介

- 本名：サニー カミヤ 米国籍 62歳
- 元福岡市消防局消防吏員、レスキュー、救急隊員
- 元国際緊急援助隊隊員、ニューヨーク州救急隊員
- 教戒師（牧師）
- 国際消防情報協会調査員、34カ国の消防事情調査
- 一般社団法人日本防災教育訓練センター 代表理事
- 防衛省、外務省（消防防災・危機管理教育専門家）
- 危機管理コンサルタント、防災アドバイザーなど
- ラオス国国防省陸軍工兵部隊救助救急指導官
- 近代消防、リスク対策.com連載中
- FaceBook: サニー カミヤ

# 話して知る・考えて備える・予測して守る

## ①ファミリータイムラインの作成

「風水害における避難行動計画を作成しよう！」

## ②地震・風水害における被害の想定と対応について考える

「いつ」「どんな人が」「何をやっている時に」「どんな被災環境で」「どのような災害にあったか」「どのように避難行動をとるべきか」「平時からの備えをどうすればよいか」をさまざまなケースで考える。

## ③防災手帳

「ペット同伴避難生活に必要なものや生活支援情報等、書き出して・備えて・継続的に健康と安全を守ることをきちんと計画し実践する」

### ●内容と目的：

- ・自然災害への備えやペット防災対策について、自分で考えて、書き出した内容を話し合っ、気づいたことを周囲の仲間と共有したり、飼い主に伝えて、発災時に生命・身体・心・財産を具体的に救うことにつなげたり、できる範囲で備えて、ペットとの避難生活を守ることを計画して実践できる飼い主、ペット事業者になる。

- ・各種自然災害（風水害等）発生時におけるリスクの洗い出しによって「生命・身体・財産・生活・自由」を具体的&継続的に守りながら、生活を再開するまでの防災計画作成に必要な実践的ワークショップ。

# いつも一緒にいるために

大規模地震を始めとした、今後起こりうる自然災害に備えるには、**ダイバーシティ（多様性）型避難所の充実が最も重要な備えの一つである。**

避難所生活に必要な備えは、行政機関によるもののみならず、個人個人のさまざまな実情に合わせた備えが必要である。

また、昨今の避難所における問題のうち、**ペットとの同行避難が挙げられる。**

ペットとの同行避難について学び、**ペットの存在を理由に避難をしない、ペットを避難させず、喪失感から生きる気力を失うなどの問題を解決する。**

ペットと一緒に避難するために、**災害に対する普段からの備えについて学ぶ。**

ペットを飼育していない人も、**ペット同行避難者への理解を深め、避難所におけるペット問題を共に考えあう機会とするとともに、住民の防災意識の向上を図る。**

■ ↓ペット同行避難の受入れ（環境省）

[https://petsaver.jp/PDF/dohanhinan\\_manual.pdf](https://petsaver.jp/PDF/dohanhinan_manual.pdf)



**①ファミリータイムラインの作成  
「風水害における避難行動計画を作成しよう！」**

---

# ファミリータイムラインを作成してみよう！

**ファミリータイムライン（家族防災計画）とは？**  
**飼い主とペットのタイムライン（時系列の防災行動）**  
であり、大規模な台風の接近による大雨によって河川の水位が上昇する時に、ペットを守るために飼い主やその家族がとる標準的なペット防災行動を時系列的に整理し、自ら具体的に行動手順を選択肢毎に優先順に書き出して、「生命・身体・財産・生活・自由」を守る避難行動の一助とするものです。

この計画を家族と作成&共有しておくことで、発災時に家族それぞれがどこに居ても、WIFI等通信不能でも、警戒レベル毎の行動を予測できるため、相互に安全を確保しながら、ペットと避難生活を送ることが出来ます。

# ファミリータイムラインの作成について

## 想定内を増やして想定外を減らす！

【作成手順1】：地域の洪水ハザードマップをスマホなどで調べて、住んでいる場所や会社のリスクを確認し、大河川を基本として、日常的な発災シナリオに対し、自らの標準的なペット防災行動を考える過程を通じて、自らの避難行動を書き出して整理する。

【作成手順2】：1で取りまとめた大河川を基本とした標準的なペット防災行動を基に、中小河川氾濫や内水被害も対象とし、更に平日や休日などの時間軸を考慮し、飼い主とペットの防災行動をより実践的に考えて、避難先も選択し、行動の優先順位を決める。

【作成手順3】：土砂災害などの降雨により一連で同時多発的&連鎖的に発生する他の災害に対しても、リスクが変化する中でのペット防災行動を考える。

【作成手順4】：避難準備と確認事項を優先順に書き出す。

【作成手順5】：避難先&安全な避難ルートを優先順に書き出す。

【作成手順6】：避難グッズ&ペット搬送手段&避難方法を選択肢を3つ以上書き出す。

【作成手順7】：避難先の場所、生活方法と間取り図（同伴・車中・テント等）、予測できるペット同伴避難の選択肢を3つ以上書き出す。

# 秋田市水害ハザードマップ

スクロール版水害ハザードマップ



<https://www.akita-hm.jp>

(PDF版) エリア別マップ、情報面、別冊



<https://www.city.akita.lg.jp/bosai-kinkyu/1033802.html>

# ファミリー・タイムライン

## ～もしもの時の避難行動計画～

いざというときにあわてずにペットと一緒に行動するため、自分とペット「ファミリー」の避難行動計画「タイムライン」を作りましょう。

### STEP 1 地域の災害特性を確認

あなたの住んでいる地域は？  
 浸水想定区域  土砂災害警戒区域  
 住んでいる場所の浸水想定深は？  
 【河川名（ ） 浸水深（ ）】

### STEP 2 避難先・避難経路を決定

どこに避難する？ どうやって？ 避難の途中で注意する場所は？  
 候補1 \_\_\_\_\_ 【歩いて約 分】 ⇒ [ \_\_\_\_\_ ]  
 候補2 \_\_\_\_\_ 【歩いて約 分】 ⇒ [ \_\_\_\_\_ ]

### ● 家族の連絡先 / 緊急連絡先

TEL - - ( )  
 TEL - - ( )  
 TEL - - ( )  
 TEL - - ( )

〔警戒レベル〕 取るべき行動	〔レベル1〕 災害への心構えを高める	〔レベル2〕 自主避難など注意の呼びかけ	〔レベル3〕 避難に時間がかかる人は危険な場所から避難！	〔レベル4〕 危険な場所から全員避難！	〔レベル5〕 災害の発生又は切迫！
避難情報 等		自主避難など	ペット・障害者・妊産婦・高齢者等避難	避難指示	
気象警報、 災害情報 等	早期注意情報 (警報級の可能性)	大雨注意報 / 洪水注意報	大雨警報 / 洪水警報	土砂災害警戒情報	
		高潮注意報		高潮警報 / 高潮特別警報	
		氾濫注意情報	氾濫警戒情報	氾濫危険情報	

#### 避難準備&確認事項 (優先順に)

- 天気予報を確認
- 避難の必要有無の判断
- 在宅避難 or 水平・垂直避難
- 家の点検・補強
- 非常持ち出し品や備蓄品の確認 (ペット用品&ペット情報も)
- ペットの一時預け先への確認 (シッター、ペットホテル等)
- 避難手段、タイミング等の確認
- 備蓄品等が水浸しないように安全な場所に置く (湿気・カビ)
- 必要に応じて移動手段を検討 (ペットタクシー、車送迎等)
- ペットをケージに入れて避難の準備
- 避難場所開設状況の確認 (区HPや防災情報Eメール)
- 避難先受け入れ状況の確認
- 避難に時間を要する方は、ただちに危険な場所から避難

#### 避難先&安全な避難ルート (選択肢各3つ以上)

- ・風水害時に安全確保する場所は？
  - 屋内待機 (在宅)
  - 浸水範囲外の安全な場所
  - 避難先等 (両親・家族・事業者)
- ・避難先アドレス&連絡手段  
 避難先1：  
 避難先2：  
 避難先3：
- ・安全な避難ルート  
 避難先1：  
 避難先2：  
 避難先3：

#### 避難グッズ搬送手段&避難方法 (選択肢各3つ以上)

#### 避難先での生活方法と間取り図 (同伴・車中・テント等選択肢各3つ以上)

命の危険、直ちに安全を確保！

気象状況 (例)

大雨の数日～約1日前

大雨の半日～数時間前

大雨の数時間～2時間前程度

---

数百年に一度の大

行動プラン

わたしとペットと家族

地域

ペット同行・同伴避難所、仮設住宅入所名簿 兼 登録名簿

※多頭飼いの場合はペット毎に作成すること

ペットの写真	飼い主等の写真 ※家族・預かり主・保護者・管理者等	避難所名	
		避難所における登録番号	
入所日及び出発地	月 日	自宅・その他( )	
退所日及び行き先	月 日	自宅・その他( )	
飼い主の情報 又は、発見者、保護者、 預かり者や団体、 引取者の情報	氏名		
	住所		
	連絡先		
	避難している 教室や場所等		
ペット の 情報	名前		
	飼育動物の種類	・動物種: 犬・猫・その他種類: ・個体数: 犬( ) 猫( ) その他( )	
	飼育動物の特徴	・性別: オス・メス ・体重: kg ・種類( ) ・避妊・去勢の有無: 実施済み・未実施 ・毛色( ) ・その他: ( )	
	予防接種の有無	狂犬病ワクチン接種: 有・無/最終接種年月日: 感染症予防ワクチン接種: 有・無/最終接種年月日: 具体的なワクチン種類:( ) ノミ・ダニ・寄生虫等駆除状況: 実施済み・未実施 駆除の措置内容及び時期 ( )	
	個体識別の有無 マイクロチップ等	個体識別: 有・無 個体識別方法 ( ) マイクロチップ番号:	

生年月日	年 月 日 ( 歳) ※不明な場合は推定年齢		
性別	オス・メス	不妊去勢手術	済・未
特徴	毛の色や模様、尻尾の長さ、形、耳の形、目の色、鼻の色などの体の特徴や人に対する特性(怖がる、吠える、かみつく)などできるだけ多く。		
フードの種類	メーカー:	タイプ:	1回に与える量: g
ペット保険	加入会社名:  保険証番号:		
治療中疾病	持病: 有・無/感染症: 有・無 有りの場合は種類( ) 疾病名 ( )		
アレルギー等			
服用薬	薬の名前 ( ) 薬の種類: 錠剤、散剤(粉薬)、顆粒剤、液剤 点眼、坐薬、塗り薬、吸入剤、注射剤 服用回数 ( ) 投薬要領:		
犬の登録情報	鑑札番号: 第 号 注射済票番号: 年度 第 号		
獣医情報01	動物病院名: 電話番号: カルテ番号: 獣医師名:		
獣医情報02	動物病院名: 電話番号: カルテ番号: 獣医師名:		

# ペット同伴避難関係ダウンロード

- ↓被災状況予測・避難計画票作成（地震・風水害）

<https://petsaver.jp/PDF/petdouhansenario.pdf>



- ↓ペット同行・同伴避難所、仮設住宅入所名簿 兼 登録名簿

[https://petsaver.jp/PDF/check\\_in\\_form.docx](https://petsaver.jp/PDF/check_in_form.docx)



- ↓ファミリータイムライン

<https://petsaver.jp/PDF/familytimeline-sheet.pdf>



## ②被災状況予測・避難計画票作成（地震・風水害）

地震・風水害における被害の想定と対応について考える

「いつ」「どんな人が」「何をやっている時に」「どんな被災環境で」

「どのような災害にあったか」「どのように避難行動をとるべきか」

「平時からの備えをどうすればよいか」をさまざまなケースで考える。

# 秋田市津波ハザードマップ

## 津波ハザードマップ



<https://www.city.akita.akita.jp/city/gn/ds/htdocs/>

## スクロール地図版ハザードマップ



<https://www.city.akita.lg.jp/bosai-kinkyu/1022356/index.html>

# 秋田市土砂災害ハザードマップ

秋田県土砂災害危険箇所マップ°（WEB上で地図操作が可能）



<http://sabomap.pref.akita.lg.jp>

土砂災害ハザードマップ°（PDF版）



<https://www.city.akita.lg.jp/bosai-kinkyu/bosai/1002188/1029299/index.html>

# 被災状況予測・避難計画票作成（地震・風水害）の作成方法

## 被災状況予測・避難計画票（風水害）

No.	1	気象状況:降雨量110ミリ/時間、大雨特別警報(土砂災害)発令直前	
被災日時	7月7日(日)午前10時 ※夏、休日昼を想定した問題		
動物種	犬・猫・その他	被災場所	自宅
○ハザードマップ上の位置づけについては、それぞれの居住地の状況にあてはめてください。 ○家族構成はご自身の状況にあてはめてください。 ○飼養動物のプロフィールは、ご自身の状況にあてはめてください。 ○不明な情報もあるかと思いますが、あらゆる可能性に配慮して検討してください。 【気象警報等の発表状況】 ※減災の行動について考えさせるために、問題文において、過去の発表状況を元に時系列に示すこととしました。 7月6日(土) 午後6時 大雨注意報、強風注意報 7月7日(日) 午前8時 大雨警報(土砂災害) 午前9時 大雨警報(浸水害)、洪水警報 午前11時 土砂災害警戒情報 【避難計画・検討事項】 1 どのように避難行動をとるべきですか？ ① 避難のタイミングは？ ② 避難方法は？ ③ 避難先の選択肢は？ ④ 避難生活に必要なものは？ ⑤ 避難行動(避難生活も含む)で特に気をつけなければならない点は？ ※季節、時間帯、ペットのプロフィール(持病、年齢、吠え癖など)、今後想定される被害などから、避難行動全体で注意すべきことを書いてもらいます。 2 平時からの備えをどうすればよいと思いますか？具体的に。 (例:ハザードマップの確認、避難先の選定、持ち出しグッズの準備等) 3 所感			

1、まずは15分で自分とペットの被災状況を予測して書き出す。

①複数の選択肢がある場合は優先順に番号を付ける。

②正しい間違いでは無く、行動判断の選択肢を増やす。

2、20分で各グループでそれぞれ書き出したことを話し合い、納得性と必要性を考えて、まとめてみる。

3、10分程度で、いくつかのグループにまとめた内容を発表していただきます。

※質問・意見・要望等が生じたら、まずは現状や根拠法令などをスマホで調べてみて解答が見つからない場合は「誰に」「何を」「どのように」等、書きだした上でご発表下さい。

4、質疑応答&フリー議論15分間。

# ペット同伴避難については昨年の資料を参照



## ペット防災・ペット同行同伴避難について ～「飼い主とペットの健康と安全の保持」を標準化しよう～



令和5年9月1日（金）

10:00～12:00 ペット防災ワークショップ

13:00～15:00 ペット同伴避難関連訓練

主催：秋田情報ビジネス専門学校

一般社団法人 日本防災教育訓練センター  
一般社団法人 日本国際動物救命救急協会  
代表理事：サニー カミヤ



<https://petsaver.jp/PDF/AKITA2023.pdf>

# ペット同伴避難対策は整理して議論すること

## 1. 政策と規制の整備

- **法整備:** ペット同伴避難のためのガイドラインや規制を整備し、自治体に対する義務を明確化する。
- **予算の確保:** ペット同伴避難所の設置や運営のための予算を確保し、自治体や関連団体に対して補助金を提供する。

## 2. 自治体の取り組み

- **避難所の確保:** 既存の避難所にペット同伴スペースを設ける、または新たにペット同伴専用の避難所を設置する。
- **設備の充実:** ペットのケージや必要な物資（食料、水、ペットシートなど）を備えた避難所を整備する。
- **スタッフの配置:** 動物の世話や健康管理を行うための専門スタッフ（獣医師や動物看護師）を配置する。

# ペット同伴避難対策は整理して議論すること

## 3. コミュニティの教育と啓発

- 啓発活動: ペット同伴避難の重要性や準備方法についての啓発活動を行う。地域の防災訓練にペット同伴避難のシナリオを組み込む。
- 避難訓練: ペット同伴の避難訓練を定期的 to 実施し、住民が実際にペットを連れて避難する経験を積む。

## 4. 民間企業や団体の協力

- 協力関係の構築: ペット用品メーカーや動物病院、ペットホテルなどと協力し、避難所に必要な物資やサービスを提供してもらう。
- ボランティア: ペット同伴避難所の運営やペットの世話を支援するボランティアの募集と訓練。

## 5. インフラ整備

- ペット専用スペースの確保: 避難所内にペット専用のスペースを設け、ペットと飼い主が安全に避難できる環境を整備する。
- 衛生管理: 避難所内の衛生環境を保つための対策（消毒、清掃）を徹底し、ペットによるアレルギーや病気のリスクを軽減する。

# ペット同伴避難対策は整理して議論すること

## 6. データの収集と分析

- **ペット情報の登録:** 各家庭のペット情報（種類、数、健康状態）を事前に把握し、避難時に迅速に対応できるようにする。
- **フィードバック:** 避難訓練や実際の避難の際に得られたフィードバック、他県の例を基に避難所運営の改善点を定期的に見直す。

## 7. 法的支援と権利保護

- **法的支援:** ペットを連れて避難する権利を保障する法律を整備し、ペット同伴避難の受け入れを拒否する避難所、または、運営管理者が減るようにする。
- **権利保護:** ペットの福祉や権利を守るための団体と連携し、ペット同伴避難の重要性を訴える。

## 1. 災害対策基本法

災害対策基本法は、災害時の対策の基本となる法律です。この法律の下では、自治体が地域防災計画を策定することが義務付けられています。ペット同伴避難についてもこの計画に組み込むことが可能です。

## 2. 動物の愛護及び管理に関する法律（動物愛護管理法）

動物愛護管理法は、動物の愛護および管理についての基本的な枠組みを定めています。この法律に基づき、ペットの適切な飼育や避難時の扱いに関する指針が提供されています。

## 3. 内閣府ガイドライン

内閣府は「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」を策定しており、このガイドラインは自治体や関連機関がペット同伴避難の計画を立てる際の参考資料となります。ガイドラインでは、ペットの避難場所、輸送方法、健康管理などについて詳細が記されています。

#### 4. 地方自治体の条例や計画

多くの地方自治体では、独自の防災計画や条例を策定しており、その中でペット同伴避難に関する具体的な規定が設けられている場合があります。例えば、特定の避難所ではペット同伴を認める規定を設けることがあります。

#### 5. 日本赤十字社の指針

日本赤十字社も、災害時におけるペット同伴避難についてのガイドラインや指針を提供しています。これには、ペットの避難所での受け入れ手順や飼い主が持参すべき物品リストなどが含まれます。

#### 6. 獣医師会や動物福祉団体のガイドライン

日本獣医師会やその他の動物福祉団体も、災害時におけるペットの避難に関するガイドラインを提供しています。これらのガイドラインには、ペットの健康管理、ストレス対策、避難所でのケアなどが詳述されています。

# 具体的なペット同伴避難のためのガイドライン作成のポイント

- 1、事前準備:** 飼い主に対してペット用の避難袋を用意するよう指導し、必要な物品リストを提供します（鑑札、ワクチン接種済証、食料、水、食器、ペットケア用品、薬品、サプリメント、おもちゃ、健康記録、ケージ、トイレ用品等）
- 2、避難所の準備:** ペット同伴可能な避難所を事前に指定し、平時から、避難場所や環境などの情報を飼い主に周知します。
- 3、健康管理:** 避難所でのペットの健康管理について、獣医師の協力を得る方法を策定します。
- 4、コミュニケーション:** 飼い主とペットが離れ離れにならないよう、識別タグやマイクロチップの装着を推奨します。

# 本日の振り返りや現状の改善点、課題について等

# まとめ

発災時にペットと飼い主の「健康と安全」を守り続け、被災後の「生活の質」を著しく低下させないためにもストレスの少ない在宅避難を強化しよう。

公的な避難所は複雑多数の避難者がいるため、ペットの有無にかかわらず、さまざまな人的な摩擦やプライバシー等の精神面でのストレスも溜まりやすい。

また、避難先がハザードエリアだったり、停電&断水、トイレも使えないなどの非日常的な状態が続く。。

万が一の避難先は公的な避難施設ばかりではなく、民間施設も選択肢に入れておき、季節に応じた停電・断水・通信不能・交通機関停止等の避難対策も考えておくこと。

**早めにしっかりと考えて備えて防災対策することで  
今の自分が未来の自分とペットを助ける！**

# ご清聴ありがとうございました。

この講演資料のダウンロードはこちら→<https://petsaver.jp/PDF/AKITA2024.pdf>

## ●防犯・危機管理

G4S 警備会社 セキュリティーコンサルタント  
テイケイ株式会社 警備員指導講師  
東京ビルディング協会 テロ対策特別講師  
など



## ●防災・災害対応

(特非) ジャパンハート国際緊急救援事業顧問  
(一財) 消防科学防災センター指導員  
(株) FCR 鉄道人的災害特別指導官  
(株) レスキュープラス 上級災害特別指導官  
など

一般社団法人 日本防災教育訓練センター  
サニー カミヤ



<https://irescue.jp>  
03-6432-1171  
[info@irescue.jp](mailto:info@irescue.jp)

